

政策体系	基本目標名	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	スポーツ推進課
	政策名	02	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		
	施策名	02	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		
施策関係課	政策調整課、健康増進課、いきいき高齢課、都市整備課、教育総務課、学校管理課、学校教育課、生涯学習課				福岡 英樹

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	
	①市民 ②③スポーツに取組む市民及びスポーツ団体 ④スポーツ施設	① 市人口 ② 市内のスポーツ団体に所属している人 ③ 市スポーツ協会(支部、専門部)、レク協加盟団 ④ 市有スポーツ施設	人	115,700	-	-	-	-	-	-		
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法
	①スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりに取り組む。 ②③生涯スポーツ、競技スポーツに取組む機会を提供する。 ④スポーツ施設を安全に利用できる。	① 週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合 ② 健康づくりに取り組んでいる市民の割合 ③ 市スポーツ指導者登録制度への登録者(累計) ④ 安全に使用できる市有スポーツ施設の提供数	目標 実績	%	43 39.2	46 -	48 -	50 -	43 75	46 75.5	48 76	

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	
生涯スポーツの推進	①市民 ②スポーツ団体・健康づくり団体 ③スポーツ、健康づくり指導者	①主体的にスポーツに参加し、健康づくりにつなげる。 ②生涯スポーツ・健康づくりの仲間づくりをすすめ、取組む機会を提供	① 週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	目標	%	43	46	48	50	競技スポーツの推進	①市民(特に小・中学生) ②スポーツ団体 ③競技スポーツ指導者、中学校部活動	①自身の競技力向上に取り組む ②競技スポーツに取組む体制構築、実施機会の提供 ③指導力向上に取り組む、生徒の健全育成に寄与する。	① 全国大会等に出場する個人と団体	目標	組	120	130	140	165	
			② スポーツ教室・スポーツを手段にした	目標	件	17,050	19,050	22,050	24,550				② 小中学生のスポーツ教室参加者数	目標	人	420	440	460	480	
			③	目標									③ 市スポーツ指導者登録者数(累計)	目標	人	30	40	50	60	
			④	目標									④	目標						
スポーツ施設の整備と運営	①市有スポーツ施設 ②指定管理者	①計画的な点検等により管理される ①スポーツ医科学センターの拠点とする ②日々の適正な維持管理と施設の利用促進に取組む	① 市有スポーツ施設の利用者数	目標	人	400,000	450,000	500,000	523,000				①	目標						
			② 市有スポーツ施設の提供数	目標	施設	42	42	42	42				②	目標						
			③ 指定管理者施設の利用者数	目標	人	380,000	420,000	450,000	480,000				③	目標						
			④	目標									④	目標						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況								
	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を施したスポーツ施設を提供し、広く市民が参加できるスポーツイベントを実施する。 スポーツを通じた健康づくり事業(健康づくりスポーツ教室、健康体操の普及、相談事業等)に取り組む。 スポーツ医科学センター設立に向け、関係機関との調整を図り、方向性を決定する。あわせてアスリートへのサポートのあり方も検討する。 ジュニア選手育成と指導者育成事業を継続して実施する。また、中学校部活動への指導者派遣制度を創設する。 指定管理者へのモニタリングを強化し、適正な管理運営を行うほか、計画的な施設の整備改修を検討するため、長寿命化計画の検討とPF1事業等の先進地事例を調査研究する。 				取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成								
基本事業	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況				基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況				
	生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> 市スポーツ協会等の地域スポーツ団体と連携し、スポーツ大会やイベントを実施し、多くの市民がスポーツに触れる機会を創出する。 スポーツを手段にしたスポーツ・健康づくりのため、スポーツ教室、健康体操の普及、相談事業等に取組む。 生涯スポーツを推進・指導する人材の育成・確保のため、研修会の開催や情報を提供する。 	取組方針 <input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成 【基本情報の取組方針達成情報】 ・コロナ禍においても、スポーツ協会、レクリエーション協会等と連携し、スポーツ少年団合同体験やレクリエーションフェスティバルを実施した。 ・スポーツ団体と連携し、12種目18教室に及ぶスポーツ教室を実施した。健康増進法に基づき、健康教育や健康相談を実施した。 ・スポーツ推進委員や教職員を対象に年3回の研修会を実施した。 【成果指標達成状況】 ・「週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合」は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度より減少し未達成だった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や参加者の減少があったため大幅な減少があった。				競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> トップアスリートの育成と支援体制の整備、スポーツ指導者の指導力向上及び競技スポーツを担う地域スポーツ団体の活動を支援する。 専門指導者による基礎トレーニングや強化クリニックを継続的に実施し、競技力水準の向上を目的に選手の育成と指導技術の向上を図る。 中学校部活動に派遣する競技スポーツの指導者育成、派遣する体制をつくる。 	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本情報の取組方針達成情報】 ・スポーツ協会、スポーツ少年団本部の支援を行った。 ・競技力向上基礎トレーニングを6回、指導力向上研修会を3回実施した。 ・スポーツ少年団事業において、講習会等を実施し指導者育成を行った。部活動への派遣については研究中である。 【成果指標達成状況】 ・「関東、全国大会等に出場する個人と団体」は、国民体育大会の開催もあり増加し目標を達成した。 ・「小中学生を対象としたスポーツ教室に参加した人数」は、スポーツ協会専門部・総合型スポーツクラブとの連携により、12種目18教室を開催し目標を達成した。				
スポーツ施設の整備と運営	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策や指定管理者モニタリングによる適正指導等により、市民ニーズに合った利便性の向上を図り、快適で安全・安心な施設を提供する。 長寿命化計画の結果を踏まえた計画的な修繕を実施する。運動公園については、再整備も視野に入れ検討する。 スポーツ医科学センターの設置に向け、関係機関との調整を図り、方向性を決定する。 	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成 【基本情報の取組方針達成情報】 ・定期的にモニタリングを実施し指導を行っているが、施設の老朽化により、利便性が低下している。 ・長寿命化計画に基づき、運動公園や中運動公園にある遊具の更新設計業務を実施した。 ・設置候補市有施設の現地確認を行うとともに、大まかな方向性(案)をまとめて中間報告を行った。 【成果指標達成状況】 ・①、③は、コロナ禍による休館や利用の制限が無くなり、利用者は増加傾向にあるもののコロナ禍以前の状況までは戻らず未達成だった。 ・②は、施設の老朽化により1施設を休止としたため、目標に対し1施設減で未達成だった。											

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担	
	<ul style="list-style-type: none"> 国は、平成29年3月に策定した第2期「スポーツ基本計画」において、「する」「みる」「支える」といった多様な形でスポーツへの参画拡大を目指すとし、成人の週1回以上のスポーツ実施率の目標を65%とした。 市議会では、市民スポーツを振興する施策の充実、スポーツ施設の改善等を求めている。 人口減少、生産年齢人口の減少に伴い市有施設適正配置等が求められているなか、老朽化したスポーツ施設の更新、長寿命化に計画的に取り組むよう求められている。 令和5年から部活動改革により休日の部活動が段階的に地域移行されることに伴い、地域人材や運営団体の確保が求められている。 近年では少子化の影響や多様化する生活様式の中で、eスポーツやアーバンスポーツ等が普及し、注目されている。 	市民	事業所

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の第7波(7/1~9/30)、第8波(10/1~2/28)の影響により、スポーツイベントや大会において中止や制限がかかるなど、市民がスポーツに親しむ機会が制限された。 部活動地域移行について調査・研究を行ったが、実施団体についての選定に至らなかった。 スポーツ施設の老朽化により、利便性が低下している。 週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合やスポーツ教室・スポーツを手段にした健康づくり教室等に参加した延べ市民件数が目標に大きく及んでおらず、機会を提供する必要がある。 多くの市民がスポーツに触れる機会を創出するため、各種団体等と連携し、レクリエーションフェスティバルやスポーツ教室(12種目18教室)を実施した。 市民体育祭の中止に伴い、各地区でのスポーツ事業が減少したため、市民体育祭に代わる代替大会を奨励し、支援金を交付したが、1支部7町会の実施であった。 スポーツ医科学センターの設置に向け、設置候補市有施設の現地確認を行うとともに、方向性(案)をまとめて市長、副市長に中間報告を行った。 ジュニア選手育成と指導者向上を目指し、基礎トレーニングなどの研修会(競技者向け6回、指導者向け3回)を継続的に実施した。 競技スポーツの指標はいずれも達成しているが、トップアスリートの輩出には及んでいない。 指定管理者のモニタリングを実施し、改善点等について指導を行った。また、長寿命化計画に基づき、施設改修を適宜進め市民の利便性向上に努めた。 施策コストは令和4年度288,230千円、令和3年度425,016千円、前年と比較し136,786千円の減となった。主な要因は国体施設整備事業の減である。 	今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度で解決する課題】 スポーツ医科学センター設置の方向性を決定する。 部活動地域移行を推進していくための計画立案を支援する。 【令和6年度以降にも引き継がれる課題】 ①指定管理者と協力し施設整備計画の策定を行い、安心・安全なスポーツ環境を提供する。 ②ウィズコロナ及び熱中症対策を実施しながら、市民が広く参加できるスポーツイベントの開催する。 ③国民体育大会をレガシーとして、継続的に競技力及び指導力の向上を図る。 ④部活動地域移行を推進していくための、実施主体となる団体等を支援する。 【令和6年度重点課題】 ⑤スポーツ医科学センターの開設に向けた検討を行う。 	今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と協力して、施設の計画的な維持管理修繕と施設整備計画の策定を行う。また、令和7年度以降の長寿命化計画について策定を行い、安全・安心なスポーツ環境を提供する。 ②ウィズコロナ及び熱中症対策を実施しながら、広く市民参加が図られるよう、スポーツ教室やレクリエーション性のあるスポーツイベントを実施する。 ③ジュニア選手育成と指導力向上を目指し、基礎トレーニングなどの研修会を実施する。また、専門知識を持つ講師の部活動への派遣を行う。 ④部活動地域移行の実施団体と協力し、組織づくりや運営体制を支援する。 ⑤スポーツ医科学センターの設置については、スポーツ医科学の見地から生活習慣病の予防、健康維持増進を図るため、詳細な運営方法等を決定する。令和7年4月の運営開始に向けて事業を進める。
--	---	---